

令和7年度 静岡県統計功労者表彰式

企画部 統計活用課

はじめに

静岡県では、統計の普及啓発及び調査を担当する統計調査員の業務意識の高揚などを目的として、毎年“静岡県統計功労者表彰式”を行っています。今年度は2月5日に、静岡市の静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催しました。

表彰式では、統計調査員の方々や調査に御協力いただいた企業・団体等への表彰と、統計グラフコンクール及び「統計の日標語」で入賞した児童生徒への表彰を行いました。

児童生徒やその保護者が調査員の業務を知るきっかけになるとともに、自分たちの集めた統計データを子どもたちが使って作品にする姿に目を細める調査員たちの姿も見られ、世代を越えた普及啓発の場にもなっています。今回は、この“静岡県統計功労者表彰式”について、詳しくお伝えします。

I 静岡県統計功労者表彰

1 概要

今年度の表彰対象は、以下のとおりです。静岡県及び静岡県統計協会の表彰は、市町等からの推薦に基づき、選考会議において従事回数・年数等を総合的に勘案して決定しています。各省大臣による表彰も、各省庁が基準に基づき決定しています。

表彰の名称	対象	主な推薦基準・目安等	表彰者数
静岡県統計功労表彰	統計調査員	・通算20年以上又は25回以上従事	10人
静岡県統計功労知事褒賞	統計調査員	・通算15年以上又は20回以上従事	20人
静岡県統計協会 統計功労者表彰	統計調査員	・通算5年以上従事 ・統計事務上、功績が顕著であると認められるもの	70人
	調査対象事業所		6事業所
各省大臣表彰 (総務省・農林水産省・厚生労働省)	統計調査員 統計指導員	・各省の定める基準による (調査の実施にあたり、顕著な功績のあった者)	31人
	調査対象事業所		14事業所
厚生労働省政策統括官表彰	統計調査員	・各省の定める基準による (調査の実施にあたり、顕著な功績のあった者)	2人



2 静岡県統計功労者表彰式の様子

(1) 表彰状の授与

総務省柿原政策統括官（統計制度担当）付統計調整官による林総務大臣の祝辞に続き、静岡県議会の中田副議長から祝辞をいただいた後、各賞の授与が行われました。会場は受賞された皆様の、晴れやかな姿と喜びの笑顔に包まれました。



<静岡県統計功労者表彰の授与>



<同じ賞を受賞する方も呼名されます>



<静岡県統計協会統計功労者表彰の授与>



<総務大臣表彰の授与>

(2) 叙勲受章者の紹介

今年度は、統計調査員としての功績により3名の方が叙勲を受けられました。

例年、春季・秋季の伝達式が省庁ごとに行われ、皇居において天皇皇后両陛下に拝謁する機会も設けられます。受章者には、静岡県統計功労者表彰式に来賓としてお越しいただき、統計調査員の最高の栄誉としての勲章等の披露と、受章に当たってのお言葉をいただいています。

残念ながら本年度は、受章者の御都合により、お名前だけの紹介となりました。

叙勲		氏名
令和7年春	瑞宝単光章	工業統計調査 服部 美枝子 様
令和7年秋	瑞宝単光章	各種統計調査 筒井 康子 様
令和7年秋	瑞宝単光章	各種統計調査 土屋 恵子 様

II 静岡県統計グラフコンクール・統計グラフ全国コンクール・統計の日標語入賞者表彰

1 静岡県統計グラフコンクールの概要

静岡県・静岡県統計協会・静岡県教育研究会が主催し、今年度 73 回目の開催となりました。県内の小・中学生などを対象に、日常生活の中で体験したことや観察したことなどを統計的に表現する技術を育成し、統計の正しい見方・考え方の普及啓発を図るために実施しています。

主に夏休みを利用して作成した作品 655 点が、学校や各市町の教育委員会等を経由して県の審査会に出品され、各部門ごとに入賞作品が選定されました。

審査員長である静岡県教育研究会美術教育研究部長からは、寄せられた作品すべてについて、「統計を使って何を明らかにしたいのか」「どのように伝えれば、見る人に分かりやすく届くのか」といった視点や思いが丁寧に込められていたこと、優秀作品は表現の美しさに加え「問いを立てる力」や「考察を深める力」、「他者に伝える意思」が明確に感じられたとの講評がありました。

また、今後ますます求められる「データを正しく読み解き、正しく活用し、わかりやすく伝える力」をつけていくため、統計グラフコンクールが、統計への関心を深め、自分の考えを社会に発信するきっかけとなり続けるようにとのお言葉をいただきました。

賞の種類		入賞作品数
特別賞	静岡県知事賞	24 点
	静岡県教育委員会教育長賞	
	静岡県統計協会会長賞	
	静岡県教育研究会会長賞	
	静岡県教育会館理事長賞	
奨励賞	協賛団体賞	6 点
入 選		8 点
佳 作		37 点

2 統計グラフ全国コンクールの概要

公益財団法人統計情報研究開発センター主催の統計グラフ全国コンクールでは、応募総数 20,775 点の中から、本県から計 10 点の作品が入賞しました。

賞の種類	入賞作品数
入 選	2 点
佳 作	8 点



3 「統計の日」標語の概要

統計の重要性に対する関心と理解を深めるとともに、統計調査に対する国民の一層の協力を得られるようにと定められた「統計の日（毎年10月18日）」の周知を図り、広報媒体に活用するため、総務省が「統計の日」の標語を募集しています。応募総数6,047点から、各部門1点（特選1点、佳作5点）が選ばれました。

本県からは、入賞6点のうち、小学生の部及び中学生の部の2部門で次の作品が選ばれました。

賞の種類・部門		入賞作品
佳 作	小学生の部	統計は 数字が話す 物語
	中学生の部	データの種 集めて 育てて 実る未来

4 表彰式・展示会の様子

児童生徒への表彰では、静岡県のイメージキャラクター「ふじっぴー」も参加し、明るい雰囲気となりました。

統計グラフ全国コンクール及び統計の日標語の受賞者からは、作品を作る上で工夫したことや、作品を通じて伝えたいことなどについてお話いただきました。

身近な疑問を解決するために自ら調べ、作品として完成させる課程で、統計の重要性を感じ、他者に伝えるために努力したことがよく分かりました。

また、会場に隣接する小ホールには、統計グラフコンクールの特別賞・奨励賞の入賞作品と「統計の日」標語を展示し、多くの方に御覧いただきました。



おわりに

静岡県統計功労者表彰式は「地方統計大会」という位置付けで開催されています。

統計関係者が参加するイベントではありますが、統計グラフコンクール等の表彰を同時に実施し、報道機関にも情報提供を行うなどして、広く県民の皆様にも、統計についての普及啓発を図ろうと努めています。この記事も、そうした取り組みへの理解の一助となれば幸いです。

